

研修会報告書

報告者 一滴 Paddle & Mountain Guide 中村昭彦

会員研修会 シーカヤックでの島渡りにおけるプランニングと安全管理に関する研修会

2019年6月25日(火)-6月28日(金) ※予備日含む

主管： 一滴 Paddle & Mountain Guide

担当： 堀川臣樹 (パドルクエスト)

中村昭彦 (一滴 Paddle & Mountain Guide)

協力： 紺野祐樹 (アースクエスト)

参加者： シーカヤックインストラクター/ガイド2 1名

カヤックインストラクター/ガイド1 5名

使用フィールド： 宮城県東松島市月浜、石巻市田代島、周辺

会場変更に関して

当初、新潟県村上市から粟島への島渡りでの研修会の申請でしたが、6月18日におこった山形県沖を震源とする地震の余震の影響を考慮して会場変更をしました。粟島も笹川流れも観光業は再開していましたが、地震後1週間程度は同程度の余震に注意という気象庁からの情報もあり、大きな余震が起きてからの場所変更や中止を検討するよりは、今回の研修会の目的に沿った会場にできる限り早期に変更し、参加メンバーに事前に調査をしてもらうほうが有効だろうという決定にしました。

研修内容

・参加メンバーで話し合いながら計画をし、実践しました。担当は必要であれば適宜サポートや助言をおこないました。食事は各自がそれぞれ用意し、決めた時間内に済ませました。

6月25日

月浜に13時集合、天気や海況を考慮しながらのツアー計画、地図やコンパスの使い方の講習

6月26日

AM 月浜から田代島(約20キロ)

PM 砥面島一周、フィードバック

6月27日

AM 田代島から嵯峨溪

PM 嵯峨溪から月浜、フィードバック

翌日の天候を考慮して解散

所感

20キロ程度の島渡りという、それなりにリスクを伴う研修会を通して、セーフティジャッジメントの意識を高め、何を知らないといけないかを考えるいい研修会になりました。天気を予想し、少しでもリスクを減らすためにはどのような行動を取る必要があるかを、参加メンバー全員が考えるいい機会になったと思います。メンバーも普段 地図やコンパスを持ち歩くことが少ないかもしれませんが、今回のようなツアーだと必須であり、その使い方をしっかりと認識していないといけないことがよくわかったと思いますので、今後の精進に期待するとともに、地図読みの研修会をする機会が必要であると感じました。(中村)

コンパスワークを駆使した島渡りというテーマを掲げ行った研修会でした。当初の予定地で地震が発生したために急遽開催場所を変更した理由により、準備を仕切れなかった参加者もおりましたが、昨秋のインストラクター検定会の同期メンバーがいた関係で組織力が高く、進めていくうちにチームとしての機能が上がっていくことが感じられました。普段自身のフィールドでは使用しない地図とコンパスを使うことにより、シーカヤッキングの本質を得る良い機会に

なったのではないかと思います。来年以降も、パドリングスキルのみならず総合的なシーカヤッキングのスキル向上を図るためにこうしたツアー形式の研修会を開く機会を作ればと思います。（堀川）